



広島県職員 採用試験制度について

人事委員会が実施する試験には、大学卒業程度試験、社会人経験者試験、短大卒業程度試験、高校卒業程度試験、障害のある人を対象とした試験があります。（他に警察官採用試験と警察少年育成官試験もあります。）

各試験の日程についてはHPに記載しておりますので、ご確認ください。

また、令和2年度試験の募集職種と人数について、現時点ではまだ決まっていません。募集職種と人数については、各試験の受付期間の初日に発表（受験案内に記載）します。

大学卒業程度試験の受験資格年齢は、採用時22歳～29歳です。
 ただし、行政（一般事務B）区分だけは、採用時22歳～26歳です。

採用試験制度（大学卒業程度試験）

試験区分	募集職種 （代表的なもの）	受験資格年齢
大学卒業程度試験 【行政(一般事務B)以外】	行政（一般事務A） 行政（小中学校事務） 行政（警察事務） 心理，衛生（一般，薬学）， 農業，林業，畜産一般，水産， 工業（化学，機械，電気）， 総合土木，建築 など	採用時 22～29歳
大学卒業程度試験	行政（一般事務B）	採用時 22～26歳

全ての職種で、教養試験は共通です。

専門試験は、行政一般事務A、小中学校事務、警察事務の場合は、行政・法律・経済のうちから1科目を選択してください。行政以外の職種の場合は、職種に応じた内容の専門試験となります。

採用試験制度 (大学卒業程度試験)

【行政(一般事務B)以外】

	試験項目	配点	試験内容
第1次試験 (120点満点)	教養試験	45	出題数55題のうち45題回答(択一式) 25題(主に知能分野)は必須回答 30題(主に知識分野)は20題を選択解答
	専門試験	55	試験区分に応じた 専門的知識等についての試験(択一式) ※行政は行政・法律・経済から1科目を選択
	論文試験 専門記述試験	20	行政は論文試験 行政以外は専門記述試験
第2次試験 (80点満点)	面接試験 (2段階)	60	2段階の個別面接

**最終合格
決定**

第1次試験の合格者は、教養試験、専門試験、論文試験または専門記述試験の得点を合計して決定します。最終合格者は、論文試験または専門記述試験と、面接試験の点数を合計して決定します。

行政（一般事務B）区分という試験区分は、第1次試験で、行政・法律・経済の専門試験の代わりに、アピールシート試験を実施します。また、第3次試験まで面接試験を実施します。

採用試験制度（大学卒業程度試験）

	行政（一般事務B）以外		行政（一般事務B）	
第1次試験 （120/110点満点）	教養試験	45	教養試験	45
	専門試験	55	アピールシート試験	45
	論文試験 専門記述試験	20	論文試験	20
第2次試験 （80点満点）	面接試験 （2段階）	60	面接試験 （2段階） ※プレゼンテーション有	60
第3次試験 （200点満点）			面接試験	120

最終合格決定

社会人経験者試験の受験資格は、採用時59歳までで、併せて、学歴に応じて一定年数以上の職務経験が必要になります。

採用試験制度（社会人経験者試験）

試験区分	募集職種 （代表的なもの）	受験資格年齢
社会人経験者試験	【事務】行政（一般事務） 【技術】総合土木	採用時 59歳以下

学歴区分	職務経験年数
大学卒業・大学院修了	5年以上
短大卒業（2年制）	7年以上
高校卒業（3年制）	9年以上

学歴と職務経験年数の定義は、
広島県人事委員会の
ホームページに
詳しく掲載していますので、
そちらでご確認ください。
（令和元年度の受験案内のページを
参考としてください。）

第1次試験で、職務基礎力試験、アピールシート試験、論文試験または専門記述試験の3項目を実施します。最終合格者は、論文試験・専門記述試験と2次、3次の面接の得点を合わせて決定します。

採用試験制度（社会人経験者試験）

	試験項目	配点	試験内容
第1次試験 (110点満点)	職務基礎力試験	45	基礎的な知的能力の検証を目的とした筆記試験（択一式）
	アピールシート試験	45	これまでの職務経験などを通じて培った能力や成果、県職員として働く意欲に関する自己アピール
	論文試験 専門記述試験	20	行政は論文試験 行政以外の職種は専門記述試験
第2次試験 (80点満点)	面接試験 (2段階)	60	2段階の個別面接 ※プレゼンテーション有
第3次試験 (200点満点)	面接試験	120	個別面接

最終合格決定

短大卒業程度試験，高校卒業程度試験は，次の表のとおりとなります。
 障害のある人を対象とした試験は，これまでの身体障害者に加え，精神障害者，知的障害者を対象とした試験を実施します。なお，知的障害者を対象とした試験については，知事部局，教育委員会等が実施します。

採用試験制度（短大卒業程度ほか）

試験区分	募集職種 (代表的なもの)	受験資格年齢 (採用時)
短大卒業程度試験	【事務】 司書 【技術】 総合土木	20～29歳 20～21歳
高校卒業程度試験	【事務】 行政（一般事務） 行政（小中学校事務） 行政（警察事務） 【技術】 総合土木ほか	18～21歳 (総合土木のみ) 18～19歳
障害のある人を 対象とした試験 (身体障害者，精神障害者) ※知的障害者を対象とした試験 は知事部局，教育委員会等が 別に実施	【事務】 行政（一般事務） 行政（警察事務）	18～30歳

※総合土木職は，
 大学卒業程度試験
 と同日程です。

採用試験制度（短大卒業程度試験）

	試験項目	配点	試験内容
第1次 試験 (120点 満点)	教養試験	45	一般的知識及び知能についての筆記試験（択一式）
	専門試験	55	各試験区分に応じた専門的知識等についての筆記試験（択一式）
	論文試験	20	思考力，構成力等についての筆記試験
第2次 試験 (240点 満点)	面接試験 (2段階)	120	2段階の個別面接

最終合格決定

採用試験制度（高校卒業程度試験）

	行政		行政以外	
第1次試験 (100点満点)	教養試験	70	教養試験	45
	作文試験	30	専門試験	55
	適性検査	-	適性検査	-
第2次試験 (200点満点)	面接試験 (2段階)	100	面接試験 (2段階)	100

最終合格決定

第1次試験で、教養試験と作文試験を実施します。
 第2次試験では、面接を実施し、すべての試験項目の得点を総合して最終合格者を決定します。
 なお、知的障害者を対象とした試験については、知事部局、教育委員会等が別途試験内容を公表・実施します。

採用試験制度

(障害のある人を対象とした試験(身体障害者・精神障害者))

	試験項目	配点	試験内容
第1次試験 (80点満点)	教養試験	50	一般的知識及び知能についての筆記試験(択一式)
	作文試験	30	表現力、構成力等についての作文試験
第2次試験 (160点満点)	面接試験	80	個別面接

最終合格決定

採用試験制度（面接試験の評価の視点）

使命感	広島県のために働く想いを持ち，県民起点で考え行動できるか
信頼感	高い志と責任感を持って誠実に行動できるか
コミュニケーション力	わかりやすく正確な表現で，率直かつ積極的に対話できるか
判断力	変化する状況を直視し，その変化に対応しているか
積極性	幅広い視野を持ち，物事に果敢にチャレンジしているか
達成力	常により良い成果を求め，物事に取り組んでいるか

給与や福利厚生などの勤務条件については次のとおりです。
両立支援制度の内容については、「両立支援制度」の資料を
御覧ください。

勤務条件等（令和2年3月1日現在）

給与月額（広島市内に勤務した場合）

○ **大卒 約203,100円**

各種手当等

- **期末・勤勉手当（4.50か月分）**
- **通勤手当，住居手当，扶養手当，
時間外勤務手当等**

勤務条件等

勤務時間

- 8時30分から17時15分まで
(7時間45分/日)
- 完全週休2日制

各種休暇等

- 年次有給休暇20日/年
(H30平均取得日数**11.8日**/年)
1時間単位で取得が可能!
- 夏季休暇5日

勤務条件等

育児関係休暇等（出産～3歳まで）

○ 育児休業

子が**3歳**になるまで取得可能！

男性も取得可能！


H30年度取得率 **100%**（女性）

36.0%（男性）

○ 男性職員の配偶者出産休暇（3日）

育児参加休暇（5日）

H30年度取得率 **100%**



**未来の
広島県のために
一緒に働きませんか**